

## 進路相談員の役割

「だけど、あなたは体が丈夫じゃないと聞いたけど、都会に出てむりをするより県内の方がいいんじゃないかな、初任給だって同じようところがたくさんあるんだよ。例えばね……。」

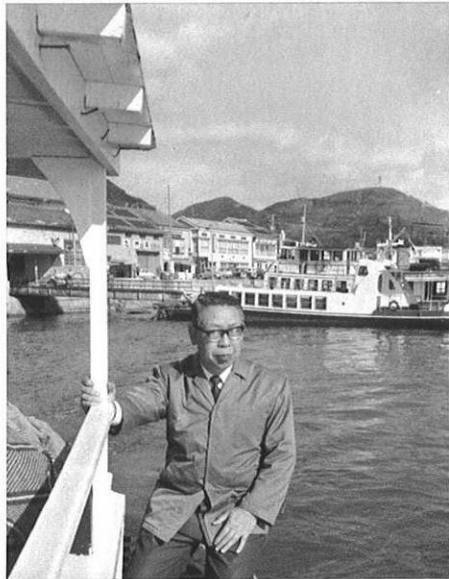
ある中学校の一室では、就職希望の生徒を集めて、いろいろな職場の概要を説明しながら、適切な就職相談が行なわれている。

ご承知のとおり、ここ数年来の人手不足は大変なもの。県では、このような事態に対処するため、四十五年四月に相談員13人を配置して、新規中・高卒者に対する就職指導体制を強化。本人の能力や適性、あるいは家庭の事情などを十分考慮して、よりよい職場に就職できるように相談に応じ、専門の立場からアドバイスしようというもの。

生徒たちと話しあってみると「友達と一緒に行こうと約束した」「親戚があるから」など単純な動機が多い。後悔のないよう本人を中心に、両親、職業指導の先生たちと話し合せて、楽しく働ける職場さがしを手助けする。

「地道だが、人の将来を左右することにもなるので、責任重大です。しかし、やりがいのある仕事」「生徒たちが、希望に胸ふくらませて新しい社会へ飛び出していく姿を思うと本当に嬉しい」と語る相談員の表情は明るい。

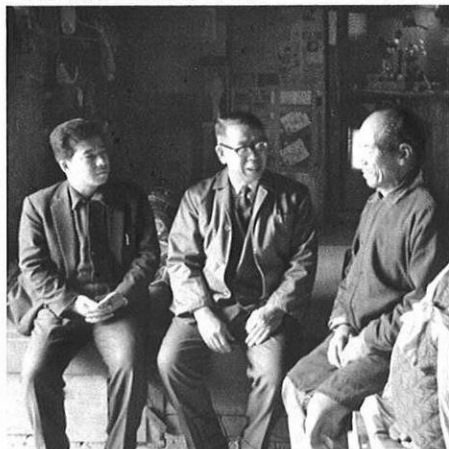
(宇城公共職業安定所三角分室にて)



▲学校や家庭を訪ねて、島から島へ。足は船を利用することが多い。



▲保護者の意見をきくために家庭や、野良▼仕事先へも出向いて。



▲「きょうはA校の予定だが、昨年場合は…」出かけるまえに所員が集って総合的な打合わせを。



▲学校の図書室で、生徒と職業指導教官といっしょになって生徒の就職希望地や条件などについて話し合う。

をポンペイの遺跡において如実に見る事ができた。石造の建築物は耐用年数が長く、投下資本も大きいので、都市づくりもいきおい計画的にならざるを得ないであろう。

わが国においても、平城京、平安京の壮大な都市計画があったが、それは中国の都城の模倣に過ぎず、いまは京都の街区にその痕跡を残すのみである。欧米の都市と比較すると、わが国には

### ◇自然の大きさ美しさ

広々とした土地、豊かな社会資本の蓄積、すぐれた都市計画の伝統、欧米には

都市計画の伝統はなかったと言っても過言ではない。私たちは、パリ郊外デフアンスの新都建設やベルリンの大住宅団地ベスタントツ計画など、幾つかの都市計画を視察したが、そこでは建築物の高さや色、交通網の立体交叉など都市計画は立体的にすめられ、空間から地下の利用まで計画的な都市づくりの手が伸びていた。これらの都市と比べると、日本で行なわれている都市計画は土地利用計画に過ぎないように思う。

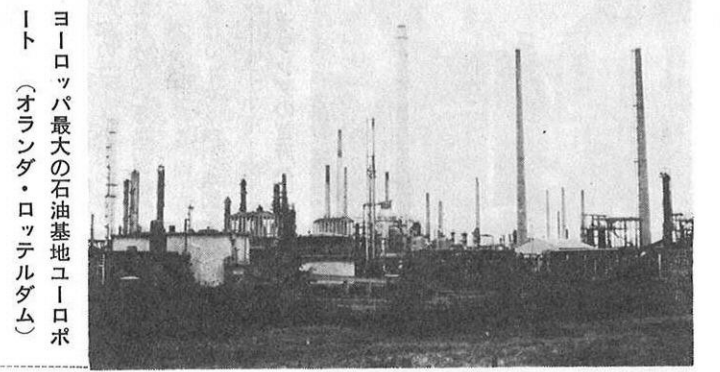
今後わが国においても、大住宅団地やニュータウン、高層ビルなどコンクリートの建築物の時代が本格的にやってくると思われるが、木造のフラットな家、扉に囲まれたプライベートな庭といった日本的な空間感覚を根本的に打破して、西歐的な都市環境の造成に大いに学ぶ必要があるだろう。私は帰国して再び県庁の勤務につき、いままでも十三階の建築物の大きさと冷暖房完備の快適さを自慢にしていた新庁舎が、広々とした芝生の開かれた庭を持ち、電線がすべて地下溝になっているのに気付く、改めてその西歐的な感覚を見直した次第である。

日本にない多くのものがある。しかし、それにもかかわらず大都市問題の悩みは日本と同じであった。人口の都市集中、住宅難、交通問題、スモッグ、そして犯罪。私はたつた三泊しかなかったニューヨークから一日もはやく逃げ出したかったし、美しい公園のようなワシントンもこのように治安が悪くては何の意味があるだろうと思った。

結局人間が作れるもの、そして作ったものは大同小異である。西欧が達成したものに日本もいずれば達するであろうし、努力の仕方によっては、もっと素晴らしいものを作りあげることが可能である。しかし、人間の力の及ばない自然の大きさ美しさ、これは本当に貴重であると思う。私たちはスイスを訪れ、ユングフラウに登ったが、人工を受けつけないアルプスの自然の大きさ美しさには、永遠を見る思いであった。アルプスの自然の独自性に比べたら、ロンドン、パリ、ローマの歴史的なモニュメントも単なる観光地に過ぎないであろう。

私は今回、欧米をめぐって、アメリカにはあまり魅力を感じることができなかった。私がもし、再びヨーロッパを訪れるとすれば、まずスウェーデンやデンマークやオランダなど北欧の国々でヨーロッパの雰囲気を感じよう。ヨーロッパの素晴らしい雰囲気は、ヨーロッパの大都市

ではなく田舎の都市に保存されていると思うからである。それから、例えば同伴する妻のためにロンドン、パリ、ローマの歴史的なモニュメントを一巡し、最後にアルプスの自然の中で身も心も浄められ、ヨーロッパの旅の印象を自分のものとして帰国したいと思う。



ヨーロッパ最大の石油基地ユーロポート (オランダ・ロッテルダム)



バルセロナの並木、街路樹も都市計画の一部である (スペイン)